

## クラスの様子【2月号】

### ●ひよこ組 今月の目標 身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

寒さがいちだんと増す時期になりました。先月は雪が降る日が多く室内にシートを敷き、りす組さんと一緒にスコップやカップを使って雪遊びを楽しみました。「入れて」と声を掛けると「いいよ」「ここにおいで」とどの子も温かく受け入れてくれました。ひよこ組の子も優しく受け入れてもらい、とてもいい表情を見せ楽しんでいました。最近はりす組さんの子がお部屋に来てくれると、遊びのまねをしたり、また同じように話をしようとしたりし、いい刺激を受けていると感じます。優しいりす組さんの姿をお手本として思いやりのある子になって欲しいとあらためて感じました。また、みんなで絵本を見たり、手遊びをしたり、自然と集まるようになり子ども達同士で笑いあったり楽しく踊ったりする姿が見られるようになりました。これからも子ども達が楽しく興味をもてるような保育をしていきたいと思います。また先月から3名のお友達が増えました。少しずつ環境にも馴染んでいます。おうちの方とも連携をとりゆったりと安心して園生活が送れるようにしていきたいと思います。(石田)



### ●りす組 今月の目標 異年齢でのかかわりを通して、様々な刺激を受けながら自分なりにやってみようとする気持ちを持てるようにする。

雪の日や寒い日も多く、体調を崩しやすい季節になってきました。子ども達は鼻水が出ると保育士のところにティッシュを持ってきて「拭いて」と伝えにくることができています。戸外に出る時には上着を自分で着られるよう少しずつ練習したり、着方を伝えていっています。まだ、自分で着るのが難しい子は「して」「手伝って」と言えるようにもなり、腕を片方ずつ通して上手に着ることができるようになった子もいます。これからも、自分のペースでやってみようとする気持ちを持てるようにしていきたいと思います。室内遊びの時におままごとコーナーで、子どもたち同士で見立て遊びをすることが増えてきました。その中で「これお金」と遊んでいたため、おままごとコーナーにおもちゃのお金を用意しました。他に必要なものを聞くと「ピツとするの」「お財布」という意見が出たため、レジや財布も用意すると、友だちと一緒にお金をお財布に入れたり、お買い物ごっこを楽しむようになってきています。今後も子どもたちの意見を取り入れながら遊びが発展していけばと思います。また、遊びの中で子どもたち同士の関わりでは、喧嘩をしている子たちの仲裁に入ろうとする姿も見られるようになってきたので、子どもたち同士の関わりを大切に見守っていきたいと思います。(伊達)



### ●うさぎ組 今月の目標 手洗いうがいをして風邪予防をする。自分で考えて行動できるようにする。

先日の生活発表会では、お忙しい中見に来ていただきありがとうございました。うさぎ組の子たちにとっては、初めての生活発表会でしたが一人ひとり緊張しながらも楽しんで取り組んでいたのではないかと思います。4月から毎日帽子を洗濯ばさみではさんだり衣服の着脱など自分のことは自分でしようと頑張ってきました。また、集まりでも名前を呼ばれたら大きな声で返事をする、お山座りをして人が話している時は聞く、ということも毎日の積み重ねでできるようになってきました。子ども達の成長を少しでも見てもらえたらという思いで今回の「おばけのほいくえんへいこう！」という劇を考えました。子ども達も「おばけのほいくえんにいきたい!」「きょうはいかんの?」という声もあがり、練習練習ではなく楽しんで取り組む姿がありました。初めてお父さん・お母さんの前に立ち、カッコいい姿を見てもらったことで子ども達にとって大きな自信に繋がっていくといいなと思います。



寒い日もまだまだ続き、風邪予防のためにもうがいの練習を始めました。コップ袋から自分でコップをだし、とっても上手にうがいをしています。お外から帰ってきたら手洗いうがいをする習慣をつけ、風邪予防をしっかりしていきたいと思います。(ゆい)



## クラスの様子【2月号】

●さくら・くぬぎ・とちのき組 **今月の目標** 感染症等に留意し、手洗いうがいをしっかりする。

今年もコロナウイルスが心配される中でしたが、保護者の方を招いての生活発表会を無事に開催することが出来ました。保護者の方には、色々ご理解、ご協力を頂きありがとうございます。これまで、『おゆうぎ会』というスタイルで園行事として行ってきましたが、今年から『生活発表会』に変わり、当日に向けて「練習する」「覚える」という形ではなく、4月から取り組んできた、生活や遊びの延長を劇に取り入れたり、自分達が体験した事も盛り込んで演じられるようにしました。



その為、劇のストーリーは原作そのままではなく、子ども達の力が発揮できるようにオリジナルのストーリーとなり、6つの劇それぞれが、子ども達一人ひとりが輝ける場面があったかと思います。年少児は初めての異年齢での生活発表会でしたが、年中、年長児と同じように鉄棒や縄跳びを披露する場面がありました。年齢に関係なく、年上のお兄ちゃんお姉ちゃんがしている事に興味を持ち、見て真似ていくうちに普段の遊びの中で色んな事が出来るようになりました。その姿を今回の生活発表会での劇を通して、お家の人に見て頂けたのは、とても良かったと思います。又、子ども達は劇のセリフや動きだけでなく、大道具や小道具、背景作りの製作にも取り組んできました。大きな模造紙に絵の具で描く背景作りでは、手も足も絵の具だらけになりながら、一つの作品を協力して作り上げていく事の楽しさを感じられていたかと思います。子ども達は保育士が思っている以上に色んな事が出来る事にも気付かされ、一人二役演じた子は衣装替えもしました。最初は保育士が手伝っていたのですが「先生！自分で出来るよ」と言ってくれて、自分で出来る事を見守る事で子ども達の成長につながっていく事を感じました。この生活発表会を経て、子ども達一人ひとりがたくましく、大きく成長した事だと思います。この経験がこれからの自信へとつながっていくといいなと思います。

(坂)

